

# 日本都市青年会議 「今までとこれから－ 社会教育と生涯学習」

2018年10月7日(日)

日本都市青年会議全国大会

分科会助言者 西村美東士(板橋区大原生涯学習センター)

<http://mito3.jp>

# 社会教育と生涯学習

## 生涯学習

自己の充実とともに(自己形成)  
学び合いと支え合い(社会形成)

### 社会教育

社会教育

家庭教育

職業教育

### 学校教育

学校教育

トランジション  
|| スムーズな移行

生涯学習の基礎・基本

新しい価値＝個人完結型から社会開放型への転換

# 社会教育の主要な柱としての青年教育

- 戦後社会教育によって、国民はまちづくりの主人公になった(寺中公民館構想)。これは、今日においても他国にないわが国の誇るべき伝統である。
- なぜそんな社会教育とりわけ青年教育が衰退したのか。未来予測と展望を指し示さなかったからと考える。(とりわけ個人化を積極的にとらえられなかった) 行政において 暮らしと仕事 →社会教育主事
- かといって、松下圭一「社会教育の終焉」が示した市民文化活動の理想像は、実現しなかった。「成熟した市民」を前提としたことの間違い。
- S D G s **Sustainable Development Goals** (持続可能な開発目標) の「誰一人取り残さないーNo one will be left behind」は理念に過ぎない。
- 大切なことは、S D G sのかけ声に惑わされず、社会開放型の新しい価値観を創造すること。
- そのためには到達目標を設定して、明示し、P(計画化)D(行動)C(到達度評価)A(改善行動)の「主体性」を取り戻すこと。

相互承認こそわれわれの居場所の目的  
中学生の居場所の条件 [http://mito3.jp/ibasyo\\_jyouken.jpeg](http://mito3.jp/ibasyo_jyouken.jpeg)

社会に開かれた関係・・・  
ワーク・ライフ・ソーシャル

相互承認へ 片面承認は成立しない

承認欲求

参考文献(書評)

駒崎弘樹『社会を変えたい人のためのソーシャルビジネス入門』 <http://mito3.jp/seika/3550.pdf>

川島高之『いつまでも会社があると思うなよ!』 <http://mito3.jp/seika/3460.pdf>

# 価値観ゲーム「愛か正義か」

## 相互関与重視

- 正義は愛の関係の中でつくられるから。
- 認め合うことで愛が成立する。
- 普遍的な愛は、自然なもの。主宰者が決める正義は恣意的。
- 他者との関係性から愛が生まれる。正義はあとからつくられる。
- 正義は評価できる。愛は評価しにくいから大事。
- 正義は他人が判断できる、自己管理できる。愛は他者との関与。
- ロックの「愛し合ってるかい？」を大切にしたい。
- 正義について日常の判断基準にない。子どもに関わる時は愛。

## 主観重視

- 自分の正義のなかに愛がある。自分にとっての主観的な正義こそ、大切にしたい。
- 自分が大切にしているのは正義。自己満足で終わりたくないから。

## その他

- 戦争は正義だと思ってやるもの。だからいや。
- 組織としては正義。個人としては愛なのでしょうが。
- 愛がなければ家でご飯も作ってもらえない。

# 価値観ゲーム 振り返り

- 愛 広い
  - 正義 狭い
  - もともとあるものは優先度が低い。
- 
- 止揚による新しい価値の創造
  - 愛 個人として重要 → 開かれた愛
  - 正義 社会にとって重要 → 個人に響く正義
  - 異なる価値観が交流して、新しい価値を生み出す。 → 止揚

| ～に<br>～は | 愛  | 健康 | 自己<br>実現 | 富 | 奉仕 | 正義 | 得点<br>○の数 | 順位 |
|----------|----|----|----------|---|----|----|-----------|----|
| 愛        |    | ☆あ | い        | う | え  | お  | =         | 番  |
| 健康       | ★ア |    | か        | き | く  | け  | =         | 番  |
| 自己<br>実現 | イ  | カ  |          | さ | し  | す  | =         | 番  |
| 富        | ウ  | キ  | サ        |   | た  | ち  | =         | 番  |
| 奉仕       | エ  | ク  | シ        | タ |    | な  | =         | 番  |
| 正義       | オ  | ケ  | ス        | チ | ナ  |    | =         | 番  |
| 計        |    |    |          |   |    |    | 15        |    |

「ア」には「あ」の逆を書き込む

| ～に<br>～は | 仕事<br>内容 | 地位     | 収入 | 評価 | 保障 | 人間<br>関係 | 得点<br>○の数 | 順位 |
|----------|----------|--------|----|----|----|----------|-----------|----|
| 仕事<br>内容 | ☆        | ☆<br>→ | →  | →  | →  | →        | =         | 番  |
| 地位       | ★        | →      | →  | →  | →  | →        | =         | 番  |
| 収入       |          | →      | →  | →  | →  | →        | =         | 番  |
| 評価       |          | →      | →  | →  | →  | →        | =         | 番  |
| 保障       |          | →      | →  | →  | →  | →        | =         | 番  |
| 人間<br>関係 |          | →      | →  | →  | →  | →        | =         | 番  |
| 計        |          |        |    |    |    |          | 15        |    |

## 結婚相手の判断基準

[illegible]



## 板橋子育て講座の構想 「まちと仲間と子育て」

| 比較相手<br>アイテム           | 金 | 夫 | 仕事 | 趣味 | ママ友 | 子育て | 得点 | 順位 |
|------------------------|---|---|----|----|-----|-----|----|----|
| 金→                     |   |   |    |    |     |     |    | 番  |
| 夫→                     |   |   |    |    |     |     |    | 番  |
| 仕事→                    |   |   |    |    |     |     |    | 番  |
| 趣味→                    |   |   |    |    |     |     |    | 番  |
| ママ友→                   |   |   |    |    |     |     |    | 番  |
| 子育て→                   |   |   |    |    |     |     |    | 番  |
| 一対比較法：比較相手より重要なら○、ほかは× |   |   |    |    |     | 計   | 15 |    |

# 価値観ゲーム <http://mito3.jp/ccc/katikan/> 愛か正義か・・・共存から共有へ

- われわれが求めているのは「共存」ではない。
- **価値の「共有」**こそ、われわれの活動の目的である。
- **止揚(アウヘーベン)** AとBの「共存」が新しい価値「C」を生み出す。
- **ネットワーク型活動から同心円型活動への発展** = 活動目的を共有する  
3人がコアになる。→活動目的を共有する（異質の）メンバー→活動目的に賛成する（異質の）サポーター→ときどき参加する浮遊層

コア

メンバー

サポーター

浮遊層

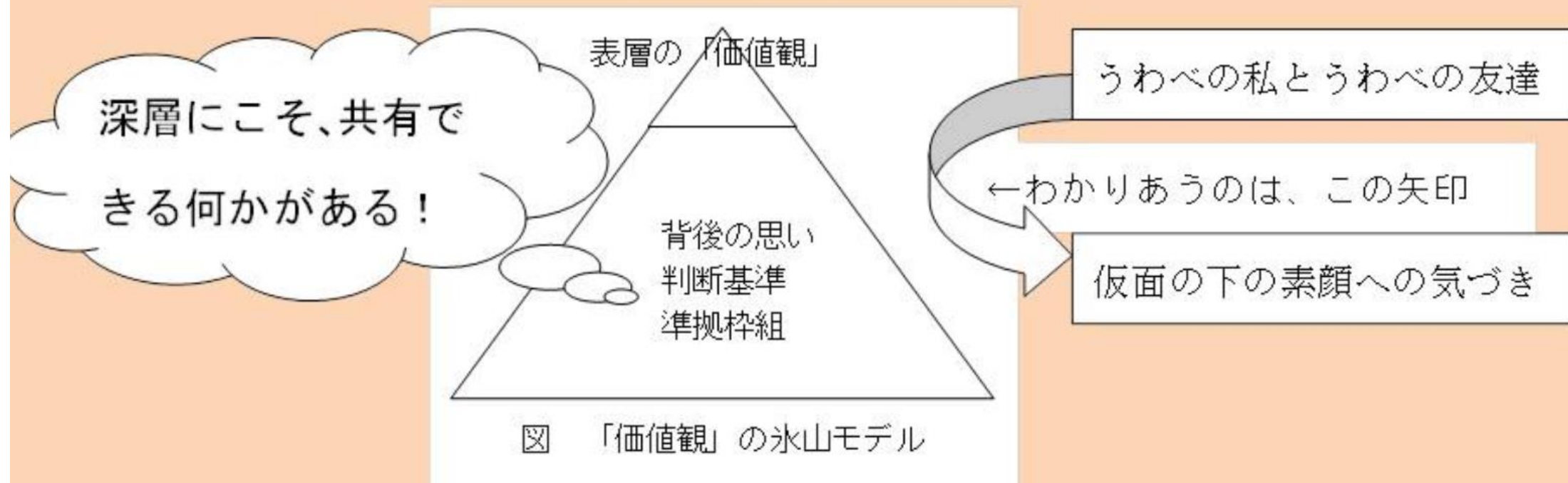
30人いれば10のプロジェクトができる

コアの3人が自己発揮する

# 相互理解の方法

## 面値観ゲームまとめ

— 表層にだまされるな、「判断基準」こそあなたらしさとその人らしさ —



# 分科会成果に向けて

- 多様の承認
  - 将来の相互承認の居場所の担い手を育成する居場所
  - 世間ならわかるが、社会についてはわからない
  - 社会参画 SDG s
  - タイプ
- 
- 多様な価値の共存から共有へ
  - 公的居場所では「寄り添う」よりも、ななめの関係が妥当である

# Q & A

教育をどう伝えるか 手書き  
 子どもの心を信じる  
 生涯学習 学校教育 主権者教育  
 社会教育 社会教育専門性 教育があるから  
 職業で教えるなら ネットで  
 青年教育の衰退 行政 少年団 少年教育 人々の暮らしと仕事を支える  
 正義の定義 逆転授業 職業は  
 行政の強化 社会教育の重要性 今の仕事 社会教育事業 ニーズに応える 脱学校論  
 注目したい 悪いことする 因果関係 個人化社会 学校教育に地域を  
 個性でかわつた 言い伝え方 子どもの権利を守る 学校完結型  
 共存と共有 歩み寄り 地域性 学校に多様性がある 個性が大事  
 学びたい時に 学びたいものを学ぶ 困った子、その子自身も 困っている。 倫理感失効  
 集合学習 その子はそれがないから 困っている。 倫理感失効  
 自己のやりたことを 困った子、その子自身も 困っている。 倫理感失効  
 指導員→支援員 スタッフ 子どもの修正 スタッフ間の多様性  
 スマホでの子 face to faceも多  
 ラインでできる 人と人とのつながり  
 メディアをうまく使う 大事



よりそう 一方的  
守る  
歩み寄り

人の都合  
大の都合  
子供 "

ナメの関係 考えてない?  
地域の人  
おばあちゃん

圧迫?  
先生は  
親は パーパルちゃんと言えな "

居場所  
主に中学生  
高校生 バイト  
他のところはいっぱい

寄り添うと思ってない

無責任だからこそ

寄り添うを求めて来ているのよ!

せちがら  
社会に適応してほしい

悪意のあることをやろ

抑圧感がある?

ルールがあること仲嫌  
ルールを自分たちでつくる  
なんとなくある 理想?

オシャレをどこまで認めろか!  
指導者もルールを決める?  
またな時間?

教員

教える側の主体性

指導 ゆさばり/課題 評価  
評価/正解を教えることか?

ルール 知っていて破る  
知っていて破るのは大事だ!

教育的(おしつけではない)

管理上 帰ってほしい

必要な 教育者 ヴラ 4-5つの力? 思い?

ルールは 管理者 ヴラ

管理場 ヴラ

居場所の  
意識

WiFiがあるから  
トレカがあるから来る  
ニミカがあるから  
生きていける  
いいリカがあるから  
来た人  
スマホの充電

見て学ば

個人化

社会に適応する

どちらでもよい

未来をサマ

うごける

定かでない

Push Pull

一言ふらそれで終りてはな  
お試し行動 (理解してあり)

めずみ、嘘 etc 人間に  
悪意は必要  
人生のエネルギー

親は重たい壁となれ

どっしりかまえる

ダメなものはダメ

寄り添うより必要

中学迄 正直  
(こと)

「原点リセット」

能力獲得目標

到達度評価

第3の支援

あんもく

# グループ分け

- 【子ども食堂】 子ども・中高生対象居場所  
地域に青少年に魅力のある居場所を作ろう  
若者指導者の養成  
地域により多様な子ども食堂  
地域における祭りの意義
- 【青年教育施設】 若者対象事業＝社会に広がる若者たち  
子ども会以降の青年会がなくなる  
若者になると寄りつかない理由は何か

共通課題「居場所における指導者の関わり方」



# 第3分科会 子ども

子どもの居場所の安全は?

- 防犯カメラ (本来は不信者用だが今は鑑視) たいたたり
- 看 guard 師がいる
- 子ども保険に入る (パト保険等)
- KYT

居場所で育った子どもたちが、リーダーになる

## 寄り添い

- ・ さっくばらんに話せる
- ・ 友達感覚か見守り感覚か

時代とともに変わって来た

★ 身体的な寄り添い (横で話をきく) 「おめてくれは」有り。

★ 心の寄り添い

寄り添い方がむずかしく  
なって来た。

## 居場所は地域教育

- ・ 指導者も教育に関わっている
- ・ お母さんも教育に関わっている
- ・ かつ くわ すると  
子どもが被害にあう

地域が丸ごと学校になる



社会とつながる  
居場所

学校卒業後「社会」いつかいつと守るべき場所  
**「職場」** 社会教育に生涯学習  
 「社会人」→会社人か？ 地域・青少年の起るべき  
 中学生(高校以降)のつながり方を築く。 承認欲求  
 社会に出てからの  
 社会に生る前の(田舎+カマ)  
 青年の家」対象: 中高生以上  
青年 = 18 ~ 39才  
 高校生 → クラゲ活動のギム  
 本分習得のギム(夏・冬) 本バト・仲  
 インターニャ (= 職業体験) 趣味(レジャー?)  
 業界研究として...? 音活  
 勉強から インターニャ ホランテア  
 勉強から インターニャ ホランテア  
 「社会人」アクリツ  
 趣味・ホランテアはアクリツ「楽しそう」  
 ホランテアない。ホランテア(ホランテア)地域活性化。  
 承認欲求が満たされるかどうか。  
 「楽しそう」 承認欲求 イヤ!  
 を満たしうる活動をしているか?  
 趣味からホランテアに変わるヤリか。船上にホランテア  
 いつのまにかギム感に。  
 主体的な小さい子にレジャー(?)をホランテアする。  
 ヤリたい子のホランテアをやるのはホランテア  
 「承認欲求」 何をしようとするのか?  
 社会活動 ようなホランテアのため何をしようか?  
 趣味・ホランテアのおぼろげ

青少年に魅力のある  
= 「承認欲求」を満たす。

居場所 = 軽微の承認欲求を満たす  
 拒否されない。だから。  
 押し付けがましくない。時代をつかむ。  
 横の連携。社会とつながり。仲間を助ける。  
 スライト(居場所)

承認欲求が満たされる。

横の連携があるので、つながりかたが身につく。

「楽しそう」で参加する。  
その結果、これが循環する。